

4

Annual Report 2017

委員会

委員会組織図

活動報告

病院機能向上推進室会議

院内感染対策委員会

医療廃棄物処理委員会

労働安全衛生委員会

病床運営委員会

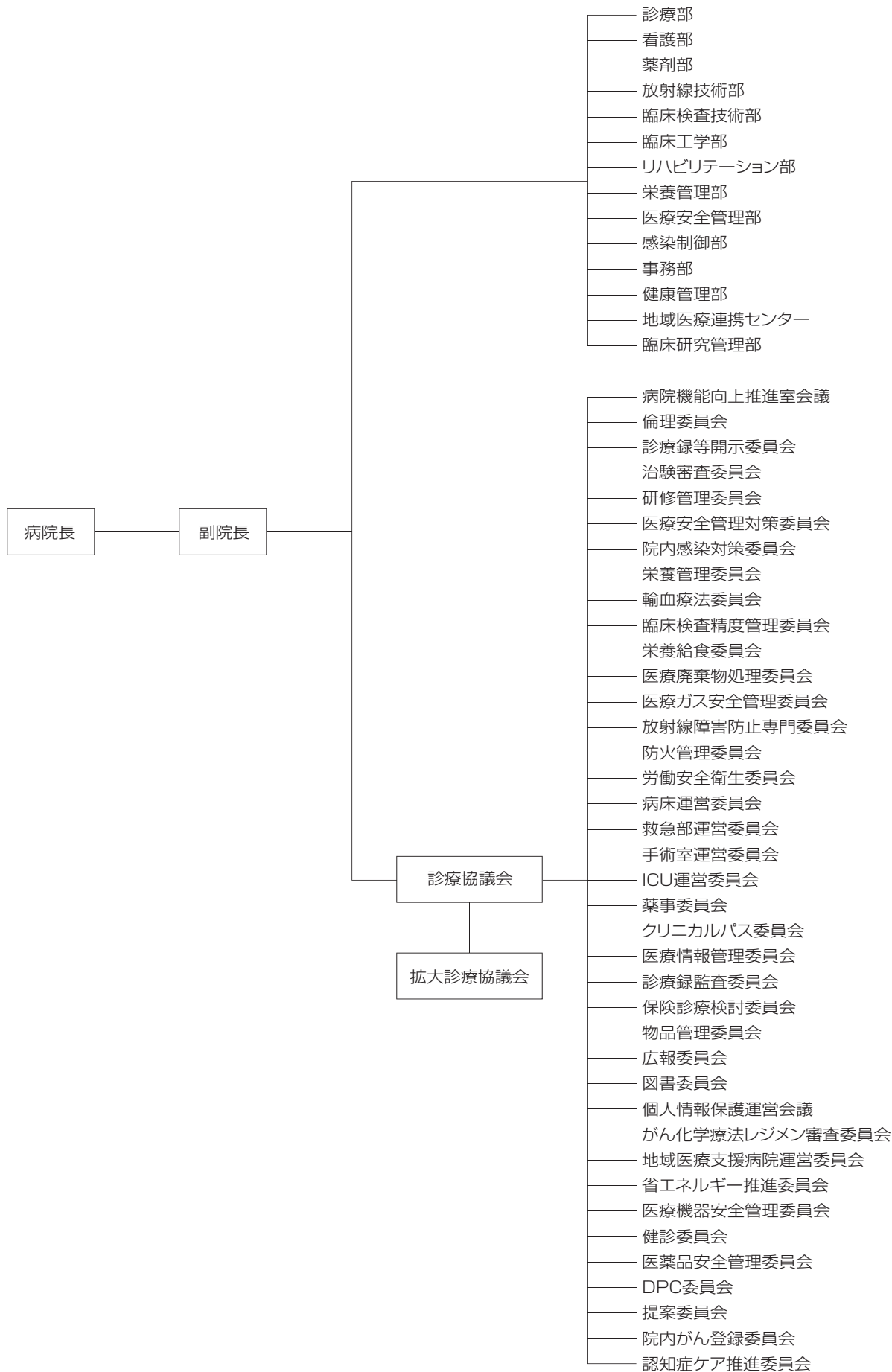
省エネルギー推進委員会

広報委員会

提案委員会

委員会組織図

2018年3月31日現在



病院機能向上推進室会議

目的

医療サービスの質向上および職場環境の向上に関して、病院職員が組織横断的かつ主体的に取り組み、患者さんおよび職員の満足度を向上することを目的として活動しています。

活動状況

- 外来満足度調査の分析に、各項目の全体満足度への影響度を取り入れ、新たな課題の抽出を行っています。
- 各検討課題について、「新規活動検討」「事案フィードバック」「広報」の3チームに分かれ、内容を検討・討議しました。
- 接遇ワーキンググループにて職員の接遇向上のための研修を部署ごとに行いました。「ナイスです!カード」の活用・広報や、接遇優秀者の表彰も行いました。
- 「母の日」「父の日」に職員のお子さんから似顔絵を募集し、院内に展示しました。
- 小学校高学年を対象に、「子ども探検隊」を企画し、実際の医療現場を体験してもらいました。
- 職員向けに機能向上通信を発行し、活動内容を周知しています。

重点目標・評価と来年度への展開

2017年度は、患者さんからいただいたご意見・ご要望に1つひとつ丁寧に対応しました。2018年度は、新たな取り組みを提案していきたいです。また、2017年度は、病院機能評価を更新しました。3年後には中間の自己評価を提出しなければなりません。今後、年1回の自己評価を実施していきます。

院内感染対策委員会

目的

病院内における感染症の発生を積極的に防止し、院内衛生管理に万全を期することを目的としています。

活動状況

- 委員会:毎月1回開催(第2木曜日)
- 感染対策地域連携加算に伴う相互査察:全4回開催
- 感染防止対策加算I・II 合同カンファランス:全4回開催
- 各ワーキンググループ活動:教育広報チーム、マニュアル検討チーム、ICT(感染管理チーム)

重点目標・評価と来年度への展開

近年、さまざまな耐性菌の出現により、院内感染対策の重要性が一層高まっています。委員それぞれが正しい知識を持ち、院内感染防止に努めます。また感染管理加算I・IIの施設との合同カンファランスや相互査察を通して、より一層医療の質向上に向けて活動していきます。

医療廃棄物処理委員会

目的

当委員会では、施設より排出される感染性廃棄物および非感染性廃棄物について、その適正な処理を確実にするために必要な手順を定め、院内環境の保全および公衆衛生の向上を図ることを目的としています。

活動状況

- 会議開催: 定期会議1回
- 研修会開催: 『医療廃棄物の取り扱いについて』新入職員オリエンテーション
- 広報啓発活動: 『委員会からのお知らせ』毎月1回院内イントラネットに掲載
- 定期巡回: ナースステーションなどでの廃棄物処理状況の確認
- 医療廃棄物中間処分場・最終処分場視察



重点目標・評価と来年度への展開

当委員会の重点目標の1つに廃棄物量の減量が挙げられます。その中で重要な指標として特別管理産業廃棄物の年間排出量50トン以下を掲げ、適正分別を推進しています。2017年度は残念ながら目標達成となりませんでした。2018年度も適正分別を推進するため、啓発活動を実施し、法令の遵守、廃棄物量の減量に取り組んでいきます。



最終処分場での視察風景

労働安全衛生委員会

目的

職員の健康保持ならびに労働災害の防止を目的としています。

活動状況

- 委員会開催: 毎月第4火曜日
- 労働安全衛生News発行
- 喫煙アンケートの実施
- メンタルヘルス講演会(2018年3月29日)
- 医療放射線被ばく防護研修(2018年2月)
- 職場巡視
- 職員の健康管理とストレスチェック説明会の開催(2017年4月19日、4月28日)

重点目標・評価と来年度への展開

職員の健康障害の防止および健康の保持増進のために、各種研修や講演会を実施するとともに職場巡視を実施し、安全快適な職場環境づくりに取り組みました。また、部署別喫煙率を算出し、上位5部署には「部署内禁煙指導計画書」を提出してもらい、喫煙者への禁煙指導を実施しました。2018年度も喫煙者の低減を目指して、禁煙指導を実施していきます。

病床運営委員会

目的

病棟診療業務を円滑かつ適正に運営することを目的としています。

活動状況

奇数月の第2木曜日に、病院長・看護部長・事務長をはじめ、各病棟責任医長および各病棟看護課長が一同に会し、各病棟の「重症度、医療・看護必要度」や稼働状況などを報告し、現状の把握や今後の稼働率向上に向けて認識を統一しています。

重点目標・評価と来年度への展開

2017年度は、動態稼働率で目標未達となりました。第1四半期の低迷が影響したものと考えられます。2018年度は、分かりやすい資料作りを心がけ、稼働率低下に対し早めの働きかけをしていきます。

省エネルギー推進委員会

目的

改正省エネルギー法により当院は指定工場に指定されているため、委員会設置の義務があります。

- ①エネルギー使用量を国へ報告
- ②エネルギー使用量低下によるコスト削減への取り組み
- ③省エネに取り組むことによる社会貢献

活動状況

- 年3回の委員会開催 2017年度使用量は重油換算値にて1,642KL
- 省エネポスターの制作、省エネチェックリストの実施
- LED照明の採用 2017年度エネルギー消費状況1,642KL

重点目標・評価と来年度への展開

2018年度は省エネ川柳の募集や、ポスターなど省エネの啓蒙活動に重点を置いていきたいと思えます。また現在のチェック表での自主チェックをラウンド形式でのチェック体制へと移行したいと考えています。

広報委員会

目的

当院を取り巻くあらゆるステークホルダー（患者さん、患者さんのご家族、地域の医療機関、取引業者など地域の企業、当法人職員、職員家族など）に対し、当院に対する理解を深めていただくことを目的としています。

活動状況

■定例会（毎月第2水曜日開催）

■院外向け広報誌「はばたき」・院内向け職員広報誌「SCRUM」

2017年度はどちらも4回発行しました。「はばたき」は毎号約2,500部を印刷し、地域の企業や医療機関へ配布しました。「SCRUM」は院内イントラに掲載し、法人内関連施設には印刷配布しました。

■病院年報・パンフレットの作成および更新

2011年より毎年、病院年報・パンフレット作成・更新を行っており、診療実績や病院概要などを発信しています。

■ホームページの更新

年度末に全ページレビューを行い、未更新のページの修正や最新のデータの掲載を行いました。年間約9万件のアクセスをいただきました。

■SNS(Facebook)の活用

イベントの告知や報告はFacebookでも行い、2017年度は44件を投稿しました。

■デジタルサイネージの設置

電子看板であるデジタルサイネージを正面玄関に設置し、各お知らせや外来診療担当表、近隣バス停の時刻表などの情報を発信しています。

重点目標・評価と来年度への展開

2017年度はホームページの更新に際し全ページの見直しを行い、最新のデータの掲載に努めました。また、院内広報誌の刷新を行い、好評をいただいております。当院のことをより知ってもらい、より関心を持っていただけるよう、さまざまなツールを活用しタイムリーな情報の発信をしていきます。

提案委員会

目的

提案制度に基づき、業務の改善や改革などに寄与する職員の提案を奨励し、その提案を積極的に採用する事により、組織に対する参加意識を高め、職場風土の活性化を促進することを目的としています。

活動状況

委員会を奇数月の第4月曜日に開催し、職員の提案を審査、採否を決定しています。
(提案制度の2017年期は2016年11月～2017年10月となります)

■2017年度 提案委員会審議状況

提案総数	採用	不採用	保留	差し戻し	その他
20件	10件	2件	2件	2件	4件

■2017年度 佐世保中央病院 提案表彰結果

	件数	提案者(部署)	提案内容
銀賞	2件	臨床検査技術部 鈴木 涼	検査依頼情報の集約化に伴うコストダウン提案
		臨床工学部 森田 晃平	ERCP ガイドワイヤ変更によるコストダウン
銅賞	1件	臨床検査技術部 片瀧 直	試薬変更によるコストダウン 他

※施設表彰銀賞は優秀な提案に対して送られる表彰となっており、銅賞は提案制度年間ポイント上位者表彰となります。

重点目標・評価と来年度への展開

2017年度は、提案が少なかったように見えますが、法人全体で「発案会議」が開催されており、当院においては33件の提出がなされました。それらを加えると50件以上の提案が行われたこととなります。しかし、本来の提案数は伸びていないため、2018年度は件数の増加に注力したいと考えています。

5

Annual Report 2017

卷末資料

院内行事

新規医療機器紹介

患者会・家族会活動実績

資格取得奨励支援制度

提案制度

学会発表実績

院内行事

	行事
4月	入社式
6月	法人内認定看護師 認定式
7月	病院こども探検隊
9月	大規模災害訓練
	合同慰霊祭
10月	手洗い選手権
11月	エマルゴトレーニング
	クリーンウォーキング
12月	クリスマスコンサート
	白十字会大忘年会
1月	年頭挨拶
	院内成人式
3月	地震避難訓練
	院内看護研究学会

病院こども探検隊

2017年8月3日(木)、医療現場を実際に体験できる「病院こども探検隊」を開催し、6年生27名が参加しました。

初めに、感染認定看護師による感染や手洗いに関する講演を聞いた後、実際に手洗いをしました。手術室では、電気メスを使用して鶏肉を切ったり、内視鏡手術のトレーニングキットを実際に操作したりとさまざまな体験をしました。

最後には、病院長より修了書の授与、そして、医療の仕事に興味を持ってもらおうとの思いで作成した職種紹介の動画を観てもらいました。



入社式

4月3日(月)、2017年度 社会医療法人財団白十字会の入社式が行われました。佐世保地区では、59名が白十字会の一員となりました。



クリーンウォーキング

2017年11月18日(土)、街を清掃しながら健康的にさわやかな汗を流す、クリーンウォーキング2017が開催されました。87名の職員とその家族が参加しました。天候が危ぶまれましたが、当日は回復し、ゴミを拾いながら日頃の運動不足を解消しました。

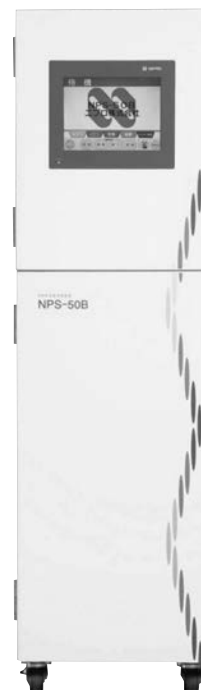
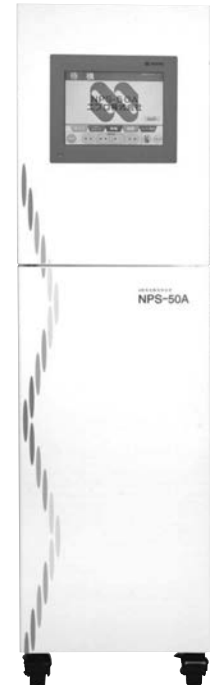


新規医療機器紹介

臨床工学部(人工透析センター)

透析システムを新規入替しました。

- 透析情報管理システム DiaCom iS
- 多人数用透析液供給装置 NCS-V(ニプロ) 1台
- A粉末自動溶解装置 NPS-50AH(ニプロ) 1台
- B粉末自動溶解装置 NPS-50B(ニプロ) 1台
- 透析用水作成装置
MRC-RO-DC nano1800 Ao-HRSC(三菱) 1台
- 次亜塩素酸ナトリウム活性化装置
HCA-603(東亜ディーケーケー株式会社) 1台
次亜塩素酸ナトリウムと酢酸を希釈混合する事で、強力な除菌効果を持つ次亜塩素酸ナトリウム活性水を作製します。低濃度で強力な殺菌効果がある為、使用薬剤量を大幅に削減できます。
- 透析用監視装置 NCV-3(ニプロ) 43台
15インチの高解像度ディスプレイにViVitパネルを搭載しており、直感的な操作ができます。さらに、分画分子量6,000の高性能ETRFにて透析液の清浄化が強化されました。
- 個人用監視装置 NCV-10(ニプロ) 2台



患者会・家族会活動実績

日本糖尿病協会長崎支部「佐世保みなと会」

佐世保みなと会とは、昭和43年、日本糖尿病協会の長崎県支部佐世保分会として、糖尿病患者を中心に佐世保中央病院にて発足された患者会です。糖尿病に関する講習会、運動療法の実技・実習に関する講習会、専門誌の配布など様々なことを計画・実施しています。



活動内容

①総会の開催

年に1回、11月に開催しています。医師、看護師、理学療法士、栄養士、検査技師などの参加のもと、総会、講演会、懇親会、グループワークなどを開催しています。

【2017年度】

◎日時：平成29年11月15日(水) 15:00～16:30 ◎場所：佐世保中央病院 南館5階 講義室

◎テーマ：「見たい!聞きたい!言いたい!」あなたと私の糖尿病

*悩みを解決するミラクルな意見交換をやりませんか?

◎講師：糖尿病センター 医師・看護師・臨床検査技師

②1型糖尿病の会「1型サークル」の開催

日本では、糖尿病患者のうち95%以上が2型糖尿病ですが、この会は1型糖尿病の患者さんを対象とした会です。2011年4月より、講演会、懇親会などを開催しています。

【2017年度】

◎日時：平成29年6月15日(木) 15:00～16:30

◎場所：佐世保中央病院 南館5階 講義室

◎講演：①「血糖値をグラフで見よう」

講師/臨床検査技師

②「インスリンに関する初耳学!」

講師/佐世保中央病院

糖尿病センター 医師

③糖尿病のことがなんでもわかる

月刊誌「さかえ」の配布

月刊誌「さかえ」は、糖尿病療養の最新情報、食事療法を活用したクッキングレシピ、療養生活のちょっとしたコツ、患者さんの体験談、医療スタッフの声などが掲載され

た糖尿病専門雑誌です。入会すると毎月読むことができます。糖尿病や予防に関する最新の正しい知識を取得することができます。



リウマチ友の会

2000年7月8日、リウマチ全般に関して活発かつ自由な討論が出来る場をつくり、病気に関する理解を深めることを目的に佐世保中央病院に『リウマチ友の会』が発足しました。患者さんが中心に運営する会で、現在の会員数は70名程です。

患者同士が親睦を図り、様々な医療情報や生活の工夫を交換し、交流できるように、そして医療従事者と患者さんが一体となりチームワークを組んで治療・ケアを行っていきける礎となるように活動しています。



医師講話

活動内容

①リウマチ友の会開催

※過去開催された題目、内容(一部)

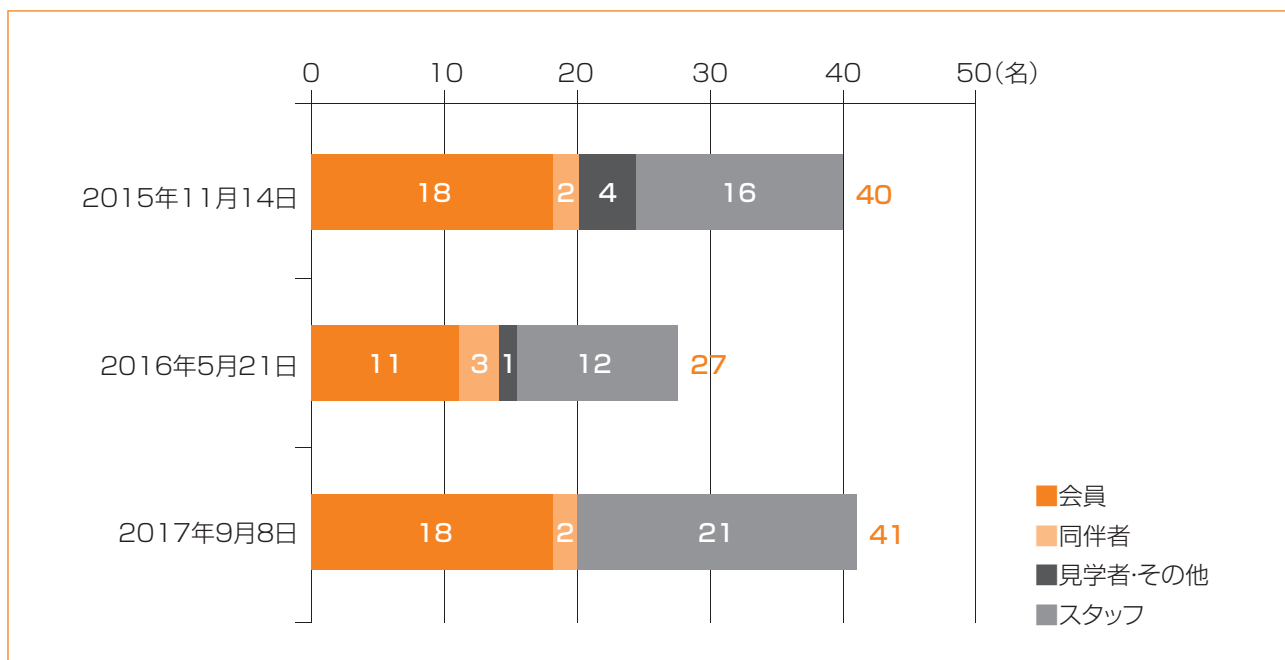
■医師講話

- ・「関節リウマチの最新の治療」
- ・「リウマチ治療30年」
- ・「関節リウマチと骨粗鬆症」
- ・「関節リウマチの治療目標 T2T」

●2015～2017年度 リウマチ友の会参加人数

(名)

	2015年11月14日	2016年5月21日	2017年9月8日
会 員	18	11	18
同伴者	2	3	2
見学者・その他	4	1	0
スタッフ	16	12	21
合 計	40	27	41



メモリー・クラスルーム(認知症健康教室)

認知症に対する理解を深めることで、適切な介護方法を理解し、行動心理症状(BPSD)の予防や介護負担を軽減することができます。当センター受診の予約をされて待機中のご家族や、診察検査が終わり確定診断を受けられたご家族、ドリームケア・ドリームステイ各施設利用のご家族を対象に、認知症の健康教室を毎月1回開催しています。また、より具体的な対応方法を学んでいただくために中級編を開催しています。

健康教室内容

初級編(偶数月)

- ①認知症ってどういう病気?
- ②治療薬のお話
- ③適切な介護について、
患者さんの心の中を知る
- ④介護体験談(『認知症の人と家族の会』より)
- ⑤介護保険認定の申請方法、
介護施設の上手な利用法について

中級編(奇数月)

- ①アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、
前頭側頭葉変性症のBPSDの対応方法
(センター職員の寸劇・解説)
- ②患者・家族と職員によるグループディスカッション
- ③ドリームケア事業所・サンガーデン利用説明、紹介
(ドリームケア花高・川口所長、ドリームステイサン
ガーデン・池田所長)

開催実績

	参加 家族数	ドリームケア 利用家族	合計 家族数	人数	関連 職員人数	総参加 人数
2017年 4月(初級編)	12		12	20		20
2017年 5月(中級編)	15	1	16	32	1	33
2017年 6月(初級編)	12		12	16	1	17
2017年 7月(中級編)	11		11	16	2	18
2017年 8月(初級編)	11		11	24	1	25
2017年 9月(中級編)	14		14	24		24
2017年 10月(初級編)	13	1	14	23	4	27
2017年 11月(中級編)	10		10	15		15
2017年 12月(初級編)	10		10	21	3	24
2018年 1月(中級編)	12		12	25	3	28
2018年 2月(初級編)	12		12	28	7	35
2018年 3月(中級編)	10		10	22	3	25
合計	142	2	144	266	25	291

※関連職員:長寿社会課職員、市内地域包括支援センター職員、DC職員

緩和ケアチーム

医学は病気を治癒することや延命を目的に発展、その中で死は避けるべきものとして扱われ、その過程に医学の観点から目を向けられることはあまりありませんでした。

最新の緩和ケアは、死を人間が一度は体験する、避けることのできないプロセスと捉え、多面的かつ包括的なアセスメントに基づいて、つらい時期を上手に過ごすために、あなたとご家族を支えます。

1.医療者向け教育研修(多職種)

- (1)【緩和ケア医師研修会】
- (2)【看取りケア(エンゼルケア)】
- (3)【緩和医療研究会・ランチョンミーティング(第2・4火曜日)】



- がん診断・継続治療支援
- 緩和ケアチームカンファレンス(火曜日)
- 緩和ケア相談「緩和ケア相談室」(月～金)
- ピュアサポート:がんサロン絆(月～金)
- 緩和ケア啓発街頭キャンペーン(世界ホスピス週間)
- 遺族会(家族会)



資格取得奨励支援制度

職員が自らの職能の向上をめざし学習・研鑽する意欲を奨励、支援、助成し、医療・介護の質の向上に寄与することを目的としています。資格は職務の質の向上に寄与する程度や難易度によって、「奨励資格」、「支援資格」、「評価資格」の3つに分類されています。ここでは、制度を利用し「支援資格」に合格した実績を紹介します。

部門	資格名	合格者数(名)
看護部	AHA ACLSプロバイダー	4
	認定看護管理者教育課程(セカンドレベル研修)	1
	認定看護管理者教育課程(ファーストレベル研修)	3
放射線技術部	放射線取扱主任1種	1
リハビリテーション部	呼吸療法認定士	1
	霧島リハビリテーションセンター PT/OT研修(川平法)	1
事務部	電気工事士 第二種	1
合計		12

提案制度

●提案制度について

当院では、業務の改善や改革などに寄与する職員の提案を奨励し、その提案を積極的に採用することにより、組織に対する参加意識を高め、職場風土の活性化を促進するために提案制度が設けられています。

提案事項は業務に関連した創意と工夫による内容とし、全ての職員が提案する資格を有しています。また、担当職務範囲を超えたものでもよく、共同提案も可能となっています。

提案事項は提案委員会が受付窓口となっており、定期的に審議し採否を決定しています。採用された提案については、提案規程に基づき表彰を行っています。

●直近5年間の提案件数

(提案制度の1期は11月～翌年10月までです)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
提案件数	35件	32件	40件	33件	20件
(うち採用)	27件	18件	26件	28件	10件
(うち不採用)	7件	7件	6件	3件	2件
(保留)	1件	1件	3件	1件	2件
(差し戻し)	—	3件	2件	1件	2件
(その他)	—	3件	3件	—	4件

●直近5年間の表彰実績

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
施設表彰・金賞	1名	該当なし	1名	3名	該当なし
施設表彰・銀賞	1名	2名	1名	3名	2名
施設表彰・銅賞	3名	3名	6名	4名	1名

※施設表彰金賞、銀賞は優秀な提案に対して送られる表彰となっており、銅賞は提案制度年間ポイント上位者表彰となっています。

新聞記事などの紹介

佐世保中央病院では地域への情報発信を目的にメディアへのプレスリリース(パブリシティ)を行っています。以下がメディアに取り上げていただいた記事の項目です。

掲載月	内 容	掲載メディア
6月	リウマチについて	医療情報誌「日経メディカル」
6月	ワーキングレディ	地域情報誌「99 VIEW」
7月	市民公開講座(認知症疾患医療センター)	長崎新聞
7月	高齢者交通安全キャンペーン	長崎新聞
8月	病院こども探検隊	長崎新聞
9月	C型肝炎について (消化器内視鏡科 医長 加茂泰広)	長崎放送(ラジオ あさから!)
8月	事前指示書について(國崎名誉顧問)	公益社団法人佐世保法人会「法人会だより」
9月	大規模災害訓練	長崎新聞
11月	病院へ行こう! ツアー	広報させぼ
11月	図書室開設15周年記念 写真展	長崎新聞
11月	「第30回長崎マスタース陸上競技選手権大会」 24歳以下男子3000m競歩に出場(資材課 吉永宗一郎)	長崎新聞、NIB(長崎国際テレビ)
11月	冬季感染予防キャンペーン	長崎新聞、毎日新聞
2月	糖尿病について糖尿病センター (糖尿病センター長 松本一成)	西日本新聞
2月	がん教育の様子(児童を対象) 緩和ケア認定看護師 福田富滋余	長崎新聞
3月	リウマチ膠原病について 江口勝美 顧問	西日本新聞



学会発表実績

部署	氏名	学会名	会期	演題名
リウマチ・ 膠原病科	植木 幸孝	第61回 日本リウマチ学会総会・ 学術集会	4月20～ 22日	当院における関節リウマチ Bio-switch治療の使用経験
	江口 勝美			長崎県北医療圏におけるRA患者のHTLV-1 抗体陽性患者の頻度と成人T細胞白血病の発症頻度
	荒牧 俊幸			関節リウマチに対するトファシチニブの3ヶ月での 早期治療効果は1年後の治療効果を予測する
健診科	川内奈津美			長崎県北部の地域連携ネットワークによる 関節リウマチ診療の現状について
研修医	平尾 宣子			縦隔気腫を起こしたCADM3例の検討
小児科	山田 克彦	第201回 日本小児科学会 長崎地方会	4月23日	佐世保市小児生活習慣病検診の 運用と効果についての後方視的検討
	犬塚 幹			脳波異常を伴い、カルバマゼピンが奏功した 周期性嘔吐症候群の5歳女児
臨床検査 技術部	片淵 直	第106回 日本病理学会総会	4月27～ 29日	当院病理部における ISO15189の運用について(教育について)
小児科	犬塚 幹	第14回 アジア・大洋州小児神経学会	5月11～ 14日	Treatment of juvenile myoclonic epilepsy and assessment of patient's background
糖尿病内科	松本 一成	第60回 日本糖尿病学会 年次学術集会	5月18～ 20日	SGLT阻害薬では治療満足度は上昇するが、 食事・運動療法への自信は高まらない
	徳満 純一			NIPPON DATAを用いた冠動脈疾患と脳卒中による10年以内 死亡リスク評価と動脈硬化危険因子の管理目標達成率について
糖尿病リウマチ 膠原病センター	野口早由里			多職種介入による近医産科との 妊娠糖尿病連携への試み
3階西病棟 看護課	松山 典子			患者の「タイプ分け」でみた PAID・SESD質問票の傾向と特徴
栄養管理部	貴島左知子			問診票から得られた生活習慣と肥満、 血糖コントロールとの関係
感染制御部	奥田 聖子	第6回 日本感染管理 ネットワーク学会学術集会	5月19～ 20日	全職員対象院内感染対策研修会の 参加率向上への取り組み
循環器内科	落合 朋子	第317回 日本内科学会 九州地方会	5月20日	完全房室ブロックに対する一時ペーシング挿入直後に 急性肺水腫を来した不安定狭心症の1例
研修医	大和 慎治			両側肺に他発する結節影を契機に診断された MTX関連リンパ増殖性疾患
臨床工学部	関谷 光彬	第27回 日本臨床工学会	5月20～ 21日	緩和ケアにおける臨床工学技士の役割
外科	丸山圭三郎	第54回 九州外科学会	5月26～ 27日	腎摘後9年目に孤立性肺転移を発症した 腎細胞癌の1例
臨床検査 技術部	浜田 有	第58回 日本臨床 細胞学会総会 春期大会	5月26～ 28日	大脳転移性血管肉腫の1例
リハビリ テーション部	川上 章子	第54回 日本リハビリ テーション医学会学術集会	6月8～ 10日	糖尿病神経障害の合併が 2型糖尿病患者の運動機能に与える影響
循環器内科	吉村 聡志	ACP(米国内科学会) 日本支部 年次総会2017	6月10～ 11日	Hypertensive crisis due to nonionic low osmolar contrast medium during coronary angiography in a patient with pheochromocytoma
小児科	犬塚 幹	第59回 日本小児神経学会学術集会	6月15～ 17日	繰り返す熱性けいれんと無熱性けいれんに 対しレベチラセタムが有効であった3例
糖尿病内科	松本 一成	第58回 日本心身 医学会総会・学術講演会	6月16～ 17日	糖尿病臨床へのコーチングの応用 ～スタッフが変わる、患者さんも変わる～
研修医	大和 慎治	第21回 日本救急 医学会 九州地方会	6月16～ 17日	術前診断し得た鼠経ヘルニア偽還納の一例
脳神経外科	古賀 嵩久	第126回 日本脳神経 外科学会 九州支部会	6月17日	CEA術後に生じたICA kinking stenosisに 対しステント留置術を施行した1例

部署	氏名	学会名	会期	演題名
臨床検査技術部	丸田 千春	第66回 日本医学検査学会	6月17～18日	当院におけるISO15189に準じた教育体制について
	片瀨 直			病理検体確認作業におけるウェアラブルカメラ使用の試み
	安東摩利子			病棟業務の取り組み
リハビリテーション部	吉田真奈美	第22回 日本緩和医療学会 学術大会	6月23～24日	終末期がん患者の自宅退院支援におけるリハ専門職の役割と退院後自宅訪問から学んだこと
リハビリテーション部	山口めぐみ	第18回 日本言語聴覚学会	6月23～24日	がん摘出術後の摂食嚥下障害について
循環器内科	吉村 聡志	第26回 日本心血管インターベンション治療学会学術集会	7月6～8日	特発性冠動脈解離の患者にカテーテルによる医原性冠動脈解離を生じた一例
小児科	山田 克彦	第12回 日本臨床コーチング研究会総会・学術集会	7月15日	小児肥満症の行動療法におけるコーチングの経験
3階西病棟看護課	松山 典子			患者の「タイプ分け」でみたPAID-SESD質問票の傾向と特徴
放射線科	平尾 幸一	第30回 九州・中四国ハイパーサーミア研究会	7月22日	切除不能膀胱癌に対する温熱化学放射線療法の予後因子に関する検討
リウマチ・膠原病科	植木 幸孝	第42回 熊本リウマチ膠原病研究会	7月26日	生物学的製剤治療がリウマチ診療にもたらすもの～長崎県北地区におけるリウマチ医療連携～
研修医	平尾 宣子	日本内科学会 第318回 九州地方会	8月5日	著名な高CK血症をみとめたが保存的治療で軽快した横紋筋融解症の1例
健康管理部	杉原 早紀	第58回 日本人間ドック学会学術大会	8月24～25日	体重減量に向けた有効な保健指導の検討～過去の特定期保健指導結果からの分析～
	竹谷美智子			当センターにおける機能向上活動の取り組みについて
心臓血管外科	谷口真一郎	第110回 日本血管外科学会 九州地方会	8月26日	上行大動脈人工血管置換術後の慢性大動脈解離に対してAMPLATZER vascular plugⅡにてエントリー閉鎖を行った1例
3階東病棟看護課	澤山 智圭	第48回 日本看護協会慢性期看護学術集会	8月31日～9月1日	看護師のフットケア指導に関する意識と理解度調査～集団指導経験者と未経験者との比較～
4階東病棟看護課	日下部真希			誤嚥性肺炎のリスクのある患者に対する看護実践～ギョウチャップ徹底への指導とその効果～
4階西病棟看護課	川尻 奈那			心不全患者における内服管理への支援の現状～事例を通し入院中の内服薬管理シートの改善を目指して～
リウマチ・膠原病科	荒牧 俊幸	第54回 九州リウマチ学会	9月2～3日	当院関節リウマチ患者における消化性潰瘍について
	來留島章太			気管支拡張症を合併する関節リウマチ症例の臨床的検討
3階南病棟看護課	久保田 薫	第48回 日本看護協会急性期看護学術集会	9月7～8日	肩腱板修復術後の退院指導に関する看護師の意識と現状～理学作業療法士とパソナットを統合して～
ICU・透析看護課	吉田絵里奈			脳卒中患者の退院指導の実施率向上～スタッフ指導を行って～
循環器内科	落合 朋子	第25回 日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会	9月8～9日	急性下壁心筋梗塞治療後に心破裂をきたし、心嚢ドレナージのみで救命した1例
	吉村 聡志			うっ血性心不全を呈したAVR後の医原性VSDを左室造影と肺動脈造影で局在診断した一例
医局秘書課	中村真由美	第2回 長崎県医師事務作業補助研究会	9月9日	診療を支える連携体制の取り組み～患者さんと共に～
3階西病棟看護課	楠本 慈	第19回 日本褥瘡学会 学術集会	9月14～15日	重度の褥瘡を有した患者の治療と退院支援を行って～再発を繰り返さないために～
3階西病棟看護課	桃野 孝介	第42回 日本大腸肛門病学会 九州地方会	9月16日	ストーマの変化に対する器具交換のあり方を振り返って
臨床検査技術部	丸田 秀夫	日本臨床検査自動化学会 第49回大会	9月21～23日	ISO 15189認定取得から維持・管理～市中・中規模施設での経験から～
研修医	市川 宏美	第79回 日本呼吸器学会日本結核病学会 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会	9月22～23日	限局型全身性強皮症に合併したびまん性肺出血の一例
認知症疾患医療センター	日和田正俊	第7回 日本認知症予防学会 学術集会	9月22～24日	地域に向けた認知症予防活動：第1報～認知症予防トレーナー養成講座の開催～

部 署	氏 名	学 会 名	会 期	演 題 名
心臓血管外科	中路 俊	第70回 日本胸部 外科学会定期学術集会	9月26～ 29日	良好なリモデリングを得るための B型大動脈解離へのTEVAR介入時期の検討
研修医	柴田 雅士	第53回 日本胆道学会学術集会	9月28～ 29日	門脈腫瘍栓を伴った脾NETの一例
循環器内科	吉村 聡志	第65回 日本心臓病学会学術集会	9月29日～ 10月1日	非イオン性低浸透圧性造影剤での冠動脈造影により高血圧発作と カテコラミン誘発性心筋症が誘発された褐色細胞腫グリーゼの1例
外来・救急外来 看護課	谷口 拓司	第48回 日本看護学会 看護管理学術集会 (平成29年度)	10月12 ～13日	継続看護を目指して 救急外来における看護記録の現状調査
手術室・ 中材看護課	岡山 政司			手術中地震発生時の対応について ～シミュレーション訓練の取り組み～
5階西・消化器 内視鏡センター	久間 裕子			入院患者における離床センサー 設地と解除の検討 ～フローチャートの作成と活用～
3階西病棟 看護課	楠本 慈			PNS導入によるインシデント・ アクシデント発生件数への影響
脳神経外科	堀尾 欣伸	日本脳神経外科学会 第76回 学術総会	10月12 ～14日	CEA術後に kingking stenosisをきたした2例
4階西病棟 看護課	川尻 奈那	第21回 日本心不全学会 学術集会	10月12 ～14日	心不全患者における内服管理への支援の現状 ～事例を通し入院中の内服薬管理の改善を目指して～
腎臓内科	上条 将史	第47回 日本腎臓学会西部学術大会	10月13 ～14日	ステロイド治療後に急激な腎機能低下を 認めた全身性エリテマトーゼスの一例
糖尿病内科	松本 一成	第55回 日本糖尿病学会 九州地方会	10月13 ～14日	SGLT2阻害薬が効き難い患者の 心理状況とは？
リウマチ・ 膠原病科	小島加奈子			当院における他科での病棟血糖管理に対する 専門医の関わりと満足度のアンケート調査
糖尿病内科	徳満 純一			NIPPON DATAを用いた心血管疾患、 冠動脈疾患、脳卒中中の10年以内死亡リスク評価
糖尿病内科	明島 淳也			当院における病棟血糖管理の実態調査
糖尿病リウマチ 膠原病センター	静間 靖代			インスリンランギンU100から U300への変更後の実態調査
	佐藤 文子			患者指導用タブレットの 使用評価の報告(第1報)
	加藤 陽子			栄養看護外来における眼科受診の推進と その後の行動変化を調査して
薬剤部	紙谷友里子			糖尿病患者におけるポリファーマシー 回避のための薬剤師の取り組み
臨床検査 技術部	影平 宏美			パニック値としての低血糖、 高血糖を示した患者の実態調査
	清水 菜央			教育入院患者のHbA1cにおける効果判定
リハビリ テーション部	室島 央典			2型糖尿病患者における運動療法に対する行動変化 ステージがロコモ25に及ぼす影響について
	浦 聖二			2型糖尿病患者における2ステップ値が ロコモ25に与える影響
栄養管理部	貴島左知子			栄養看護外来における糖尿病医療の実際
	八木 計佑			当院1型糖尿病患者における間食時の インスリン追加打ちの現状調査
	山下祐理子	糖尿病患者の食事摂取量と感情負担の関連		
	永田 萌	食事写真から算出した 管理栄養士間の差異 第二報		
リウマチ・ 膠原病科	辻 良香	19th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology Congress	10月16 ～20日	Efficacy and safety at 52 weeks of daily clinical use of tofacitinib in patients with rheumatoid arthritis in clinical practice.
	植木 幸孝	第38回 アフェレシス学会学術大会	10月19 ～21日	関節リウマチ(RA)に対するアフェレシス療法

部署	氏名	学会名	会期	演題名
リハビリテーション部	下川 善行	リハビリテーション・ケア合同研究大会 久留米 2017	10月19～21日	小刻み歩行・すくみ足症状を呈した症例に対する運動療法の検討
	馬淵 重雄			lateropulsionを呈した症例に対して、意識される知覚を活用したアプローチにより傾斜改善が図られた一症例
	廣田 奈央			褥瘡を繰り返す脊髄損傷患者に対する生活様式変更に向けた取り組み
	吉崎 奈々			排泄動作を獲得し在宅復帰した症例について～妻の余命までに帰りたい～
	峰 菜緒			外出訓練の段階的施行により、退院後の活動・参加に結びついた症例
脳神経外科	古賀 高久	第127回 日本脳神経外科学会九州支部会	10月21日	自然血栓化を認めたもやもや病関連末梢動脈瘤の1例
呼吸器内科	小林 奨	第65回 日本化学療法学会 西日本支部総会	10月26～28日	関節リウマチ治療中に発症し治癒までに約3年間の抗菌化学療法を要した肺ノカルジア症の1例
リウマチ・膠原病科	小島加奈子	日本内科学会九州支部主催 第319回 九州地方会	10月29日	意識障害の遷延を認めた重症発熱性好中球減少症候群(SFTS)の1例
薬剤部	岩村 直矢	第27回 日本医療薬学会年会	11月3～5日	脳神経外科患者におけるバンコマイシンの低トラフ濃度の要因解析
ICU・透析看護課	浦辺 勇樹	第22回 九州・沖縄地方会学術集会	11月4日	ICU入室前訪問の患者評価と改善点の検討
リハビリテーション部	久田 勇輔	第3回 長崎再生医療とリハビリテーション研究大会	11月10日	急性期脳梗塞症例に対してロボットスーツ HALの訓練方法を工夫した一症例
リハビリテーション部	東原太郎	九州理学療法士・作業療法士合同学会2017 in宮崎	11月11～12日	外来リハビリテーションにおけるリンパ浮腫治療 圧迫療法及びADL指導がうまくいった症例
研修医	柴田 雅士	第110回 日本消化器病学会九州支部例会 第104回 日本消化器内視鏡学会九州支部例会	11月17～18日	胃全摘後急性輸入脚症候群に対して内視鏡的ドレナージが有効であった一例
	市川 宏美			腸重積を契機に発見された小腸悪性リンパ腫の一例
放射線技術部	中恵 龍一	第12回 九州放射線医療技術学術大会	11月18～19日	当院における123I-ミオMIBGの標準ME H/Eのカットオフ値の検討
リハビリテーション部	久田 勇輔	第7回 日本ロボットリハビリテーション・ケア研究大会	11月18～19日	急性期脳梗塞症例に対してロボットスーツ HALの訓練方法を工夫した一症例
外科	丸山圭三郎	第79回 日本臨床外科学会総会	11月23～25日	Upside down stomachを呈した食道裂孔ヘルニアの1例
脳血管内科	佐原 範之	第33回 NPO法人 日本脳神経血管内治療学会学術総会	11月23～25日	CAS後にクモ膜下出血を発症し、過灌流症候群が脳動脈瘤破裂が苦慮した一例
認知症疾患医療センター	川口さゆり	第36回 日本認知症学会学術集会	11月24～26日	「認知症」と診断された自動車運転継続中の患者への対策
循環器内科	吉村 聡志	第123回 日本循環器学会九州地方会	12月2日	救急外来のPitfall:Wellens症候群との鑑別を要したStanford A型大動脈解離の一例
研修医	市川 宏美			ジギタリス中毒によるR-on-T現象を合併した偽性アルドステロン症の一例
リウマチ・膠原病科	植木 幸孝	第32回 日本臨床リウマチ学会	12月2～3日	なぜトファシチニブを使うのか?
研修医	柴田 雅士	第9回 長崎大学消化器内科研究会	12月9日	胃全摘後急性輸入脚症候群に対して内視鏡的ドレナージが有効であった一例
放射線科	堀上 謙作	第40回 九州IVR研究会	12月16日	偶然発見された左肺底動脈大動脈起始症に対し塞栓術を施行した一例
小児科	山田 克彦	第203回 日本小児科学会長崎地方会	12月17日	無症状でトレッドミル試験で診断に至った重症不整脈の2例
脳神経外科	堀尾 欣伸	第27回 日本脳神経血管内治療学会 九州地方会	1月13日	診断に苦慮した仙骨部硬膜外動静脈瘻の1例
循環器内科	吉村 聡志	日本内科学会 第320回 九州地方会	1月19～20日	脾臓低形成患者における侵襲性肺炎球菌感染症の1例
心臓血管外科	中路 俊	第32回 心臓血管外科 ウィンターセミナー学術集会	1月24～26日	高位側壁枝病変による急性心筋梗塞に合併した前外側乳頭筋断裂に対する治療経験
看護部	山口 大輔			開心術患者における早期離床の評価

部署	氏名	学会名	会期	演題名
作業療法課	三宅 陽平	第25回 長崎県作業療法学会	2月10～ 11日	急性期より活動・参加に焦点をあて作業療法を行った症例
臨床検査 技術部	清水 菜央	日本医療マネジメント学会 第18回 長崎支部学術集会	2月17日	当院におけるパニック値報告の現状
感染制御部	奥田 聖子	第33回 日本環境 感染学会総会・学術集会	2月23～ 24日	過去の手指消毒回数と院内感染率の推移などから影響を与えた要因と今後の取り組みについて考える
リハビリ テーション部	荒木 翼	第29回 長崎県理学療法学会	2月24～ 25日	右被殻出血により重度左片麻痺を呈した症例に対する歩行介助の検討
	谷内 涼子			在宅酸素療法導入にあたり、携帯型酸素の使用拒否や指導に難渋した一症例
リウマチ・ 膠原病科	江口 勝美	第55回 九州リウマチ学会	3月3～ 4日	全身性強皮症 (Systemic Sclerosis) の臨床的検討
	植木 幸孝			当院における関節リウマチBio寛解患者の現状
	小島加奈子			両側大動脈弓分岐血管閉塞をきたした大血管型巨細胞性動脈炎 (LV-GCA) の1例
	辻 良香			当院で経験したANCA関連血管炎性中耳炎 (OMAAV) の3例
看護部	田中 弥生			当院におけるリウマチ教育入院の現状と課題～医師、看護師のアンケート調査の結果から～
	植木友理子			関節リウマチ患者のフレイルの現状把握と対策について
臨床検査 技術部	小川 章子			HBV感染関節リウマチ患者を安全に治療するための対策の構築
研修医	平尾 宣子	第221回 日本神経学会九州地方会 第128回 日本脳神経外科学会九州支部会	3月10日	外転神経麻痺を合併したくも膜下出血の一例
健康管理部	山口 初美	第19回 九州予防医学 研究会学術大会	3月17～ 18日	子宮頸がん検診に関するオリエンテーションの課題について